

# 線形代数学第 1 - 中間試験問題 -

電子情報学類 1 年生 ( 1 組 )

平成 23 年度前期 - 2011.5.25 -

1. 次のベクトル, 行列の計算を行え. 計算が不可能な場合は「計算不可」と答えること.

$$(a) \begin{bmatrix} 1 & -2 & 4 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 2 \\ 0 \\ -3 \end{bmatrix} \quad (b) \begin{bmatrix} 3 \\ -2 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 1 & 2 & -3 \end{bmatrix} \quad (c) \begin{bmatrix} -1 & 2 & 3 \\ 2 & -1 & 0 \\ 4 & 0 & 2 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} -1 & 0 & 3 \\ 0 & 2 & -1 \end{bmatrix}$$

$$(d) \begin{bmatrix} 3 & 1 \\ -1 & 2 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 0 & 2 & -1 \\ -3 & -4 & 1 \end{bmatrix} \quad (e) \begin{bmatrix} 2 & -1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 1 & 2 & 0 \\ 2 & -3 & 1 \end{bmatrix} \quad (f) \begin{bmatrix} 2 \\ -1 \end{bmatrix} + \begin{bmatrix} 2 \\ -1 \\ 3 \end{bmatrix}$$

2. 次の連立方程式をガウスの前進消去と後退代入により解け.

$$\begin{bmatrix} 1 & 2 & -1 \\ 2 & -1 & 0 \\ -1 & 0 & 1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} u \\ v \\ w \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \\ 2 \end{bmatrix}$$

3. 次の行列を  $LDU$  に分解せよ.

$$A = \begin{bmatrix} 1 & 0 & -1 \\ -2 & 1 & 1 \\ 1 & 2 & -1 \end{bmatrix}$$

4. 次の行列の逆行列を *Gauss-Jordan* 法により求めよ.

$$A = \begin{bmatrix} 1 & 0 & 2 \\ -2 & -1 & 0 \\ -1 & 1 & 1 \end{bmatrix}$$

5. 行列  $A$  においてガウスの前進消去を行って得られる行列を  $U$  とする.  $U$  において零の行が生じるとき,  $A$  の行ベクトルの間にはどのような関係があるか示せ ( $A$  の行ベクトルを  $a_1, a_2, a_3$  とし, これらの間にどのような関係があるかを示す. 結果のみでよい)

また, そのような行列  $A$  の例 ( $3 \times 3$  行列) を示し, ガウスの前進消去を行い, 行列  $U$  において零の行が生じることを示せ.

6. 式 (1) で与えられる行列  $E_{ij}$  の逆行列が式 (2) となることを示せ. 但し,  $i \neq j$  であり,  $Z_{ij}$  は第  $i$  行第  $j$  列の要素  $z_{ij}$  のみが非零であり, 他の要素は全て零であるとする.

$$E_{ij} = I + Z_{ij} \tag{1}$$

$$E_{ij}^{-1} = I - Z_{ij} \tag{2}$$

7.  $A, B$  の全ての要素が零でないとする. このとき,  $AB = 0$  となる  $A, B$  の例 ( $2 \times 2$  行列) を求めよ. 但し,  $A \neq B$  とする.